

## 第 4 回郡山市上下水道事業経営審議会 議事内容

日 時	令和 2 年 10 月 19 日 (月) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分
場 所	郡山市役所西庁舎 5 階 5-1-2 会議室
出席者	<p>【委員：10 名】                      中野和典会長、小林裕子副会長、安部洋子委員、伊藤江梨委員、伊藤清正委員、                      太田善雄委員、川面顕彦委員、平川真理子委員、満田仁一委員、渡辺亨委員                      ※欠席者：大波久夫委員、竹谷金浩委員、玉野井晃委員</p> <p>【事務局：16 名】                      村上上下水道事業管理者 外</p>

<b>1 開会</b>	
事務局	第 4 回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。
<b>2 会長あいさつ</b>	
会 長	第 4 回審議会ということで、来週金曜日の 10 月 30 日には中間答申ということで、今日の審議会の議論で中間答申が確定するという位置づけで、お願いいたします。
<b>3 審議</b>	
事務局	欠席した委員は 3 名。郡山市上下水道事業経営審議会条例第 5 条第 2 項により、出席者は過半数を超えているため、本日の会議は成立していることを報告する。議事は会長が議長となり進めていただく。
議 長	本日の傍聴希望者はいるか。
事務局	本日の傍聴希望者はいない。
<b>① 第 3 回審議会審議事項の補足説明について</b>	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料 1-1 郡山市上下水道ビジョン第 2 次財政計画下水道事業のマイナス収支について】説明。
議 長	委員から質問等あればお願いしたい。
委 員	前回質問したが、財源繰越額が資金繰越額ではなく、累積欠損金だということが分かった。
事務局	【資料 1-2 水道事業の上半期収益比較について下水道ビジョン第 2 次財政計画下水道事業のマイナス収支について】説明する。
委 員	最近のデータでは、収益は前年度と比べ、元に戻ってきているということか。
事務局	前年度収益との差は狭まっている。
<b>② 水道料金・下水道等使用料及び受益者負担金の審議の継続について</b>	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料 2 水道料金・下水道等使用料及び受益者負担金の審議の継続について】説明。
議 長	前回話のあった「下水道財政のあり方に関する研究会」は開かれたかどうか。
委 員	総務省からの情報で、今年度の報告をまとめる研究会が開かれたと聞いているが、報

	告の内容はまだ公開されていない。
<b>③ 上下水道の主要事業の進捗状況について</b>	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料 3-1～3-6】上下水道の主要事業の進捗状況について】説明。
議 長	委員から質問等あればお願いしたい。
委 員	第 1 回の審議会資料では麓山調整池は完成年度が 2018 年度となっている。100%が 2020 年度まで完成していないということはどういうことか。 凶景や赤木も 2020 年完成予定だったが、遅れているということか。
事務局	麓山調整池は、すでに完成しているが、引き込むための導水管を整備しているため 2022 年 3 月までを整備予定としている。現在、暫定供用開始したことにより、麓山地区周辺に昨年発生したゲリラ豪雨について一定の効果があつた。 赤木と凶景について、貯留管自体は今年度完成を予定している。導水管を含めた整備完了が、赤木では 2022 年 3 月、凶景が 2023 年 3 月を予定している。
委 員	2 つの貯留管は今年出来上がったら、麓山調整池と同じように使い始めるのか。
事務局	暫定供用開始する予定である。
委 員	収支の面も重要であると考えており、資産活用の検討委員会に民間の方々を参加させ、どのような議論になっているのかお聞かせいただきたい。 ゲリラ豪雨対策 9 年プランの整備に対する優先順位の考え方を教授いただきたい。整備効果を含めて住民にお示しすることが下水道事業の大切さを理解することにつながると思っている。
事務局	検討委員会は局長を会長として各課長が入り、検討部会は各課長補佐クラスが所属の意見を持ち寄って進めている。
管理者	市でも重要案件として旧豊田貯水池利活用懇談会の中に私と中野先生も入り検討している。旧豊田貯水池の活用は市民にも注目されており、考え方も含めて調整中である。 浸水対策の件については、麓山調整池、赤木、凶景貯留管の整備箇所は合流地区であり、合流地区は時間雨量 35 ミリ対応であるため、優先的に整備を行っている。 今日は福島河川国道事務所の課長に出席いただいているため、一言お願いしたいが。
委 員	福島河川国道事務所で河川の計画系の課長をしています。 郡山市では、貯留施設整備ということで内水対策をよくやっていただいている。我々は、阿武隈川の整備をやらせていただいている。今後も連携してやっていければと考えている。
<b>④ 中間答申（案）について</b>	
議 長	審議事項 4 番目の中間答申案について、今まで審議した内容により作成した中間答申案があれば提示をお願いします。
	（中間答申案を配布）
事務局	【資料 4】 中間答申（案）について】説明。
議 長	委員から質問等ありますか。
委 員	答申案の下水道料金のところで、経費回収率 98% であり概ね経営状況は良好という表現があるが、そこまで言い切れるのか。確かに 98% という数字は悪くはないが、経営から見ると 98% では赤字とみてしまう。前回の答申を見ても、そこまで良好という表現ではないが。
事務局	一般会計からの繰入金により賄われての 98% という事情もあるため、表現については

	再度検討する。
議 長	この件については、事務局と私で調整し、修正した答申案を事前に委員へ配布したい。
<b>4 閉会</b>	
事務局	以上をもって、第4回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。